

スキー界 小樽高等商業学校
友會にて購入せる塊式軍用スキー二
十五臺は前二日前到着せるより五日後の
講習には會員全部の穿用に供し得ること
なれり。今日五日は例に依りて月寒聯
隊附少尉米村の上程種町舊金澤植物
園奥松山の大傾斜面應用にてスキー術講
習あるべく高商生徒並に小樽スキー倶楽
部員は午前八時より併つて参加すべしと
し。十六臺は越後直江津の田中鐵工場よ
り發送四日小樽驛を經由して瀛船便にて
豊原へ輸送されたり。該スキーは小樽スキ
ー倶楽部のものと同型にて特製黒塗なり
し。

大西講師曰く(上)

経済學研究の爲め三ヶ年間の遠遊學を命ぜら
れたる小樽高等商業学校講師 商學士大西三
介氏に對し、校生の進路會を開會せる事は
既報せり。以下は其最後の日(舊曆廿五日)に於
ける同氏の特別講演を採録せるもの、生徒の
信意を一に纏めたる氏の言を以て列席者一同
に多大の附録を興へたり。尙三十一日所載一
流遠校長曰くは本文に對してのみ有意味の
ものなり。

▲今夕迄に送別會の連續する事三日、前
兩日直情運行の本領を發揮して常に校長
より叱正を蒙りたれば、今夕は訂正第三
版、演説に於て少かる可き形式にて同一
の精神を現はす可し。

▲しかも尙過去一年有半の小樽生活が大
体甚だ不愉快にして、又予が教育家とし
て全然失敗せりと感ぜる一事は遂に訂正
する能はず。唯學者講師としての活動に
就ては何等疾しき所なく、當時の予とし
ては全力を盡し、全身を打込みたる講義
を試むるを得たる事を以て僅に自ら慰む
可むのみ。

▲予は一生を費やして學者たらむとする
者、而して諸君は企業家たらむとする者
諸君と予とは全く相反する徑路に立つ。
藁喰ふ虫もけきく云へば予の如きを

も師として若干の敬意を拂はる、諸君々
しども限らざる可けれど、明に今其諸
君に云ふ、斷じて予を模倣す可からずと
▲世界の歴史と一括するも歴史は決して
唯一にあらざる、小學校生徒の解する日本
歴史と中學生、高等學生の解する其れと
は全く異なる、戰爭政變と云ふ客觀的事
實同一なりとも其に附する意義異ればな
り。之を解せざるの人は乃ち南北朝問題を
惹起す。予の今夕の語の出す音波は
一つなり、解する諸君、おのづから其腦力
に應じて解せらる可し。

▲例へば手にて直に靴を作る代りに先づ
機械を作りて其機械の明によつて靴を作
るが如き方法を經濟學上迂回的生産法と
云ふ。迂回的生産法は固定資本を大なら
しめ、資本運轉の期間を延長せしむるの
不利あるが如くにして、實は其固定資
本の爲に残れる流動資本の運轉期間を短
縮し、依て以て全体として其効程を増大
す。今日教育制度は實に右の經濟學
上の原則を應用したる人間の迂回的生産
制度なり。

▲十五六歳にして實業界に入らば、學校
教育を受けて二十四五歳にして之に入る
よりも初めは役に立ち流動資本多からむ

も、其基礎たる可き固定資本少きため却
てより少き流動資本をより多き固定資本
にて運轉する學校出身者に劣る生産高を
示すが如し。

▲原則として迂回距離の長きは資本の効
程を大ならしむると同じく、教育は永き
程効果あり。三年制度の高商は短かし。
此足らざるに甘んずるか。甘んずれば
如何なる覺悟を有するか。

▲本來「間に合ふ」と云ふ一事に然かく、力
を注ぐ事常れりや。間に合ひ過ぎるは
疑もなく第二流に達するの所以なり。
而して同時に又第二流にのみ達し得べき
所以なり。此意味に於て予は諸君が今少
しく間に合はざる様にならむ事を希望す
▲然れども「間に合ふ學問」を蔑視せよと云
ふにあらざる、「間に合ふ」は諸君の必要と
する第一條件なり。間に合ひ乍ら間に合
ふ以上の修養を重ねる信念を握れと云ふ。
會計方以上の會計方、書記以上の書記
現在に於ては商業學生以上の商業學生た
れと云ふ。直截に云へば「企業家の本分
を握れ」

▲産業の大將は生る可きものにして作

る可きものにあらず。予が一定の型を脱
して本眞の生命に經濟學を講じたは、或
は諸君の中にも存す可き此大將の萌芽を
枯れしめざらむ、發達せしめたるの微
意に出づ。斯くするは少數の爲に多數を
犠牲とする所以なりと云ふか。然り、而
して予は多數の凡才よりも一個の天才に
憧憬するものなり。予が諸君に講じたる
經濟學、就中企業論は斯く解して初めて
存在の意義を持つ。

大西講師曰く(下)

▲漱石の言を假して云はば人生には「低
徊趣味」あるべし。予が昨年七月まで送
れる二十四年の生涯は、一言に盡せば餘
裕無き學問一途の生涯なりき。小學校の
一年より専攻科卒業まで其成績表を列ね
てこれ大西其者なりと評するも誤り無
し。今にして予は人生の然るまで焦る必要
なく急ぐ必要なき事を悟り得たり。

▲關津村二恩師來校中の四週間は、予
が小樽に於ける一年有半中最も多し思出
の種を作りたる最も樂しき期間なりしが
其際關先生のお伴して石狩の鮭漁に遊び
し歸途、馬車に揺られ暴風雨に襲はれ甚
だしく苦しむし事あり。然かも今日此頃
尚恩師と會する毎に談必す其石狩行の追
憶に及ぶ。

▲暴風雨に苦しむ事は獨立しては無意義
なり。之を永き人生の上より見る時に始
めて或る意味を得來る。他より見ればツ
マナなく、其事のみ離して見れば馬鹿ら
しき事に熱中して而して悔ひざる場合あ
るは此爲めなり。人生全体を躬身とすれ
ば之は「ツマナリ」、「ツマ」評りにても困

大西講師曰く(下)

れど、ツマなき躬身は或場合に無價値
なり。躬身さへ有れば可しと云ひて済ま
し得る男はやがて裸體論を風俗紊亂と感
する男なり。

▲「低徊趣味」あれと云ふは捨石を打て
云ふ事なり。捨石を打つは總て捨石以上
の石を得る所以なり。人生は要はパレン
ス(蹠)の問題なり。マークス流に云へ
ば餘利他問題なり。誰とて一勿論
予にて惡事も爲したり又欠点もあり。た
ゞ其惡事を償ひ其欠点を補ふ或る物ある
が爲に、又はありと自惚る、が爲に世に
生く。手に餘る予をも快く容れて用ひつ
ゝある校長は正に餘利他價値の買手なり。
▲從つて予は予の人生觀定の貸方たる負
債を減する事よりも、先づ借方たる資産
を増加して其差引たる資本金額を増大
せむと欲す。予は或る物を完成せむが爲
に生く、或る事をせざらむが爲に生くる
にあらざる。其事成れば、其事成れば、
予の目的は終る、死んでもよし。

▲上來述べたる處は遂に三年間の教育の
意義を悟れと云ふに歸す。不足なる三年
を充分に活用せよと云ふに歸す。否な一
庄を投出して或る事を完成せよ、其爲め
に迂回せよと云ふに歸す。迂回的生産品

大西講師曰く(下)

が財の半製品時代を延長するが如く諸君
も半製品時代の精神を失ふ勿れと云ふに
歸す。早く大家と成りたるは日本大の
通弊なり。急ぐ可らず、百里の半は九十
里なり。

▲最後に云ふ、教へられずして自ら學べ。
教室に終始せずして圖書室に没頭せよ。
求むべきは廣きならして深きなり。運
きにあらずして鏡きにあり、百事に間に
合はむより一事に間に合ふにあり。至士
を望まば彼も知る此も知る而して就中或
る物を知るにあり。其或る物を悟らざる
は高商教育は無意義なり。

▲其或る物は何ぞ。或る物とは或る物
なり。曰く云ひ難し。不言言語は禪のみ
にあらざる。只諸君の自覺を待つのみ。一
年有半の予の講義は畢竟精華なり。果し
て微笑し得たる迦梨ありや。(笑)

可愛ゆきものあり憎くもある、否な可愛
ゆき爲に憎く、憎き爲に可愛ゆき諸君
と袂を別つに當り以上の言を發す。
諸君中の一人なる人生の録する所
な校にて追記す(大西三介)